

全科協 第 27 回研究発表大会 発表募集要項

- 主 催 : 全国科学博物館協議会
一般財団法人全国科学博物館振興財団
- 大会日時 : 令和 2 年 2 月 14 日 (金) 9 時 30 分～15 時頃 (予定。途中昼休憩あり)
※前日は、全科協の理事会・総会・懇親会等を予定
- 会 場 : オーテピア・高知みらい科学館 (高知県高知市追手筋)
- テ ー マ : 博物館の社会的役割を考える～持続可能性の視点から (予定)

大会趣旨 : 全科協の研究発表大会では過去 3 年間、「地域文化の核となる博物館」を主テーマに、「資質能力」「地域振興」「博物館活動のイノベーション」を各年の副テーマとして事例発表を行っていただき、議論を進めてきました。また、昨年 10 月に文化庁に所管が移ったこともあり、「文化としての科学」という新たな観点からの考察も行ってきました。

本年 9 月に開催された ICOM 京都大会 2019 の参加者数は史上最多となり、全科協加盟館園からも多くの方々が参加されました。大会では博物館の定義改正が議題となり、今回議決は延期となりましたが、今後ますます、今日の社会において博物館の果たす役割をどう考えるかが焦点となっていくでしょう。国際社会においても、2015 年に国連で採択された SDGs (持続可能な開発目標) で示されているように、海や陸の生物多様性、地球温暖化、エネルギー、水や消費の問題、教育、ソーシャルインクルージョンなど、科学系博物館に関連する課題も多くあります。世界的に、社会全体として「持続可能性」が命題となっており、科学系博物館の社会的役割を考えるうえでも大きなテーマとなっています。

このことから、今回は持続可能性の視点から考える科学系博物館の社会的役割をテーマとし、各館の研究や活動事例を幅広くご報告いただきながら議論する機会としたいと考えます。

できるだけ多くの方に発表いただけるような大会運営を予定しておりますので、是非この機会に多くの皆さまにご参加いただき、有意義な意見交換ができる場になればと考えております。

1. 募集内容：

- 発表内容 加盟館園の事業運営に参考となる事例や研究
- ・社会の持続可能性や課題解決に寄与する博物館活動や取組事例
 - ・生物多様性の保全や持続可能なエネルギーなどをテーマとした地域連携や学校連携、市民参画事業
 - ・外国人、障がい者、高齢者などが利用しやすい博物館環境創生の取組事例 など

(1) 口頭発表

- 発表時間 20分程度を予定
※応募の状況によって、発表時間や形式を変更する場合があります。
- 発表者の条件 全科協加盟館園の職員で、12月下旬に予稿を提出いただける方
※大会出席にかかる旅費は所属館もしくはご自身でご負担願います。
※口頭発表希望者で参加旅費の支弁が困難な方に対する助成事業を設けましたので、別添をご覧ください。

(2) ポスター発表

- 発表時間 ポスター掲示は2月13日(木)午後から2月14日(金)16時頃まで
※掲示場所での口頭説明：2月14日(金)11:30~12:00 予定(コアタイム)
- 発表者の条件 全科協加盟館園の職員
※大会出席にかかる旅費は所属館もしくはご自身でご負担願います。
※ポスター発表希望者で参加旅費の支弁が困難な方に対する助成事業を設けましたので、別添をご覧ください。
※発表者には次年度の全科協ニュースにて発表内容を報告いただく予定です。

2. 応募方法：

別添の用紙にて、FAXまたはEメールにてご応募下さい。

※用紙のデジタルデータは全科協ホームページからダウンロードいただけます。

<全科協ホームページ> <http://jcsm.jp/>

- 応募先 全国科学博物館協議会 事務局

- 締め切り 11月11日(月) ※当日必着

3. 結果の通知等： 11月22日(金)頃までに、応募結果をお知らせします。

4. 問い合わせ先： 全国科学博物館協議会 事務局 担当：南部、片波見

TEL 03-5814-9863

FAX 03-5814-9898

Eメール info@jcsm.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

国立科学博物館 連携推進・学習センター 連携推進課内